

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
新居浜駅周辺地区

平成24年10月

愛媛県新居浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	交流人口	人	1,720,000	2,500,000	2,254,785	確定 見込み ●	△	あり なし ●	2,252,645	H24年6月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新居浜駅周辺整備等により、交流人口は着実に増加しているが、基盤整備の効果波及に時間が掛かることもあり、現時点で目標は未達成であった。
指標2	住民満足度	%	12	60	41	確定 見込み ●	△	あり なし ●		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前値から大きく上昇したものの、回答者に地区外の住民を多く含んでいたこともあり、目標達成に至らなかった。
指標3	中心市街地人口	人	24,275	25,200	24,447	確定 見込み ●	△	あり なし ●	24,273	H24年4月	×	市域全体で人口減少傾向にあり、当該地域も同様の傾向であるため <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業により住宅地、公園等が整備され、良好な住環境が確保されたが、集計対象に当該地域以外を多く含んでいたこともあり、目標達成には至らなかった。
指標4	ピーク時間車両待機台数	台	28	0	0	確定 見込み ●	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新居浜駅前駐車場の整備等により、駅前の待機車両を解消し、交通環境の改善を図ることができた。
指標5						確定 見込み ●		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	地域交流センター利用者数	人	58,942	/	65,437	確定 見込み ●	/	/	65,196	H24年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	日常利用に留まらず、イベント等に活用されており、地域交流活性化の場となっている。
その他の数値指標2	地区内住民の満足度	%	—	/	61	確定 見込み ●	/	/		H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公園や休憩所の整備等により、地区内住民の駅周辺に対する満足度は高い。
その他の数値指標3	駅前区画整理区域内人口	人	452	/	677	確定 見込み ●	/	/	692	H24年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業による宅地の形成や、周辺の住環境整備により、駅前区画整理区域内の人口は増加している。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	土地区画整理事業等により形成された市街地の、環境 や景観の維持・向上	地元自治会や地元企業により、公園や道路の清掃活動が定期 的に行われている。	公園や道路の環境・景観は維持されている。	引き続き、地元自治会等による景観づくり、清掃活動等への支 援を行う必要がある。
	整備された公園、国領川緑地等の、良好な環境や景観 の維持・向上	「利用者協議会」等を通じ、利用者に対し、施設の適正利用、景 観の維持を呼び掛けている。特に、長期利用者には年間を通じ た草刈り、ゴミ拾い等の公園愛護活動を依頼している。	施設は適正に利用されており、景観は維持されている。	引き続き「利用者協議会」等を通じ、適正な利用を呼び掛ける。
	地域交流センターの活用促進	センター便りや既存利用団体への呼び掛けを通じ、新規利用団 体の拡大に努めている。	登録団体数は平成22年度末の55団体から、平成 23年度末には65団体へ増加した。	地域交流を活性化するため、日常利用に留まらず、各種イベン トの企画や運営に関する支援を行う必要がある。
	整備された交通施設の機能維持	定期パトロールを実施しており、補修必要箇所等があれば早急 に対応する。	現在まで、補修必要箇所等は発生していない。	今後も、定期パトロールを継続し、適切な維持・管理を図り、交 通利便性を維持する。
改善策	新居浜駅周辺の環境づくりや地域資源を活用したまち づくり	平成24年度より第2期都市再生整備計画(新居浜駅周辺地区)を実 施。第1期計画に引き続き、総合文化施設の建設等により、新居浜 駅周辺の環境づくりや地域資源を活用したまちづくりを進める。	—	総合文化施設、南北自由通路、駅前広場(北・南)、駅前駐輪場 の円滑な整備
・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	駅南北の交通施設の設備改善による、安全で便利な まちづくりの推進	平成24年度より第2期都市再生整備計画(新居浜駅周辺地区) を実施。駅南北交通の円滑化・自転車での利用環境向上を図る ため、南北自由通路整備に着手。	—	総合文化施設、南北自由通路、駅前広場(北・南)、駅前駐輪場 の円滑な整備

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
新居浜駅周辺の賑わい創出に繋がるまちづくり活動支 援	各種団体と連携し、駅前広場等を活用したイベントの開催を支援する。	平成23年度～	各種団体との連携

都市再生整備計画(精算報告)

にい は ま え き し ゅ う へ ん
新居浜駅周辺地区

え ひ め け ん にい は ま し
愛媛県 新居浜市

平成24年10月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛媛県	市町村名	新居浜市	地区名	新居浜駅周辺地区	面積	415 ha
-------	-----	------	------	-----	----------	----	--------

計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標 大目標：市の玄関口として様々な人の出会いを演出しつつ、地域資源を生かした潤いと活力に満ちた、便利で安心できるまちづくりを目指す。 目標1：市民や来訪者が集い賑わう出会いの場の実現を図るまちづくり 目標2：潤いと活力に満ちたまちづくり 目標3：便利で安心できるまちづくり
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 <地区の現況> ・新居浜駅は、JRの全列車が停車する人流拠点であり、県内で最もコンテナ取扱量が多い物流拠点である。 ・都市計画用途地域は、駅前商業地域の他、周辺は住居系用途地域が指定され、駅南側には特定用途制限地域が広がっている。駅の南側からは、パーク&ライド等の利用があるが、駅の南北を結ぶ跨線橋は老朽化しており、鉄道駅に近接する立地条件にもかかわらず、駅北側と比べて都市機能の集積が乏しい。 ・南北方向の(都)高木中筋線は、鉄道と立体交差しているが、平成16年の台風で冠水し、道路交通情報の不足とあいまって都市活動に大きな被害をもたらした。 ・新居浜駅から東西約1kmのところには、屋外レクリエーションの場である国領川緑地や滝の宮公園がある。 <歴史的経緯> ・当該地区は、当時の市街地から離れた位置に新居浜駅を設置したことが始まりである。その後、別子鉱山鉄道(下部鉄道)と新居浜駅との連絡鉄道が敷設され、人流・物流の拠点として機能し始めた。 <上位計画における位置づけ> ・当該地区は、平成2年の「新居浜市都市基本計画」で新都市拠点として位置づけたことが始まりであり、その後の中心市街地活性化基本計画や長期総合計画等においても都市拠点としての位置づけが継承されている。 ・当該地区では、新都市拠点としてのポテンシャルを向上させるべく、平成11年に「新居浜駅周辺整備構想」を策定し、また、平成10年から土地区画整理事業に着手している。 <近年の取り組み> ・「新居浜駅周辺整備構想」の策定から数年が経過し、社会経済状況や市民ニーズの変化等を鑑み、平成17年度から「新居浜駅周辺地区整備計画」の策定に取り組み、整備の方向性や核施設として芸術文化施設に関する検討を行っている。

課題 ①観光・交流に関する課題 ・新都市拠点の早期実現に向けて、市民や来訪者が市の玄関口として魅力的に感じるよう、今後も住民と行政が一体となって土地区画整理事業の残事業を推進していく必要がある。 ②アメニティに関する課題 ・当該地区における生活環境の質を高めるため、地区内公園の整備や国領川緑地の環境整備により、地区全体の潤いを高め、活力に満ちたまちづくりを推進する必要がある。 ③防災・交通利便性に関する課題 ・多くの人が居住する当該地区においては、地域交流の活発化や防災性の向上により、安心できるまちづくりを推進する必要がある。 ・新居浜駅を中心に多くの人が集まる地区として、様々な交通手段利用に配慮した交通網や交通結節点の整備改善により、便利なまちづくりを推進する必要がある。

将来ビジョン(中長期) ①新居浜らしい出会いの場としての新都市拠点の形成と都市機能の充実・強化 ②近代化産業遺産や自然資源等との連携による魅力の向上、及び情報発信機能の充実 ③交通結節点としての機能強化・快適性の向上
--

目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
交流人口	人/年	市外から市を訪問した人数	目標1(出会いの場)を示す指標として、既往調査結果等を基に交流人口を推計する。	1,720,000	平成16年度	2,500,000	平成23年度
住民満足度	%	街づくりに対する住民満足度	目標2(潤い・活力)と目標3(便利・安心)の街づくりが図られたかどうかを確認する指標として、アンケート調査により住民の満足度を計る。	12	平成19年度	60	平成23年度
中心市街地人口	人	住民基本台帳を基にした中心市街地人口	目標3(便利・安心)による人口の定着を図る指標として、中心市街地人口を計る。	24,275	平成19年度	25,200	平成23年度
ピーク時間車両待機台数	台	駅前広場内のピーク時間における車両の待機台数	目標1(出会いの場)を示す指標として、駅前広場に出入りする車両を計測する。	28	平成22年度	0	平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(市民や来訪者が集い賑わう出会いの場の実現に向けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年で駅前土地区画整理事業を完成させるとともに、新居浜駅の交通結節機能の向上のため、都市計画道路、駅前広場、駐車場、駐輪場等の整備を行う。 賑わいづくりの核となる新居浜駅前大街区へ、市民や来訪者にとっての交流・情報発信拠点となる総合文化施設(地域交流センター及び観光交流センター)を建設する。 新都市拠点の形成に向けて、今後のまちづくりを検討するための事業効果分析調査を行う。 	<p>土地区画整理事業／新居浜駅前土地区画整理事業 事業活用調査／事業効果分析調査 地域生活基盤施設／駅周辺整備事業(駅前駐車場) 地域生活基盤施設／駅周辺整備事業(駅前駐輪場) 地域創造支援事業／駅周辺整備事業(総合文化施設)</p>
<p>整備方針2(潤いと活力に満ちたまちづくりに向けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国領川緑地について、各種スポーツ・レクリエーションやイベント開催に対応できるよう、トイレ、手洗い場、ベンチ、情報板などの公園施設の整備を行う。 土地区画整理事業区域内にある公園緑地の整備や耐震性貯水槽の設置、及び駅前地区内の景観形成を図る。 	<p>公園／駅周辺整備事業(街区公園(新居浜駅前)) 地域生活基盤施設／国領川緑地再生整備事業 地域生活基盤施設／駅周辺整備事業(緑地、ポケットパーク(新居浜駅前)) 地域生活基盤施設／駅周辺整備事業(耐震性貯水槽(新居浜駅前)) 地域生活基盤施設／情報板(国領川緑地) 高質空間形成施設／駅前広場シェルター・サイン・休憩所(新居浜駅前) 地域創造支援事業／駅前4号公園内正光寺山古墳保存事業</p>
<p>整備方針3(便利で安心できるまちづくりに向けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民の交流やコミュニティ活動拠点、防災拠点の機能を果たす地域交流センター(金子校区)の建設を行う。 新居浜駅前と市内の主要施設や観光資源等との連携を図るため、(都)中央環状線(自転車歩行者道)の未整備区間(楠中央通りとの立体交差点)の整備を行う。 地区内の生活道路の整備改善を図るため、市道専売公社南通り線の道路拡幅を行う。 	<p>高次都市施設／地域交流センター建設事業(金子校区) 道路／(都)中央環状線改良事業(自転車歩行者道・坂井跨道橋) 道路／市道専売公社南通り線改良事業(道路拡幅)</p>
<p>その他</p> <p>○整備計画の継続的な実施 新居浜市では、平成19年度以降の10か年において優先的に整備すべき事業メニューを整理している。この中で、都市再生整備計画区域に該当する事業メニューについては、まちづくり交付金制度を有効に活用するため、平成20年度からの4か年で着実に実施する事業(前期)と、それ以降の5か年で引き続き実施する事業(後期)に仕分け、まちづくりの目標を継承する形で方針に合致する事業を展開する予定である。</p> <p>○施設の防災機能化 本事業により整備される公共施設のうち、身近な公園緑地は、さまざまなコミュニティ活動の場として活用されることはもとより、安心できるまちづくりに向けて、防災機能の向上に資する重要な公共施設として整備する。</p> <p>①公園 新居浜駅前土地区画整理事業区域内に整備する街区公園であり、地震災害時における安全性の確保を図るよう、一時避難地となる身近な歩いていける範囲内の公園として、地域の防災拠点及び避難中継の役割を果たす場として整備する。</p> <p>②地域生活基盤施設(緑地、ポケットパーク) 新居浜駅前土地区画整理事業区域内に整備する緑地であり、地震災害時における一時避難地として、地域の防災拠点及び避難中継の役割を果たすとともに、災害時における被害の拡大を防止する緩衝地帯として整備する。</p> <p>③地域生活基盤施設(耐震性貯水槽) 災害時における安全性の確保を図るため、消防水利施設として、新居浜駅前土地区画整理事業区域内の街区公園内に設置する。</p>	

